＜記入例＞

様式第1号（第6条関係）

宇部市SDGs私たちの未来共創補助金交付申請書

2023年 5月 〇〇日

宇部市長　　様

所 在 地:〒755-8601
宇部市常盤町一丁目 7-1 宇部未来共創大学工学部内
団 体 名:まちづくりサークル「私たちの SDGs」
代表者名:代表 連携 太郎

宇部市SDGs私たちの未来共創補助金交付要綱第６条に基づき、次のとおり関係書類を添えて申請します。

記

交付申請額　200,000 円

[ご希望の支払方法等]
・いずれかをチェックしてください。　☑概算払　□精算払

[添付書類]
1 事業計画書（様式第１号の2）
2 収支予算計画書（様式第1号の3）
3 申請団体概要書（様式第1号の4）
4 その他

[確認事項] ※内容を確認し、内容に相違なければ□に✔をしてください。
☑暴力団員（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）又は暴力団（同条第2号に規定する暴力団をいう。）もしくは暴力団員と密接な関係を有する団体等ではありません。
☑宇部市税の滞納はありません。
☑市税滞納の有無について所管課に確認することに同意します。
☑助成金の趣旨・目的に反する支出をした場合や、助成金確定額が概算払いとして受領した金額を下回るなど、市から助成金の返還請求を受けた場合は、請求分を速やかに市へ返還します。

＜記入例＞

様式第1号の2（第6条関係）

宇部市 SDGs私たちの未来共創補助金 事業計画書

※必要に応じて行間の変更等を行って作成してください。

1. 事　業　名	宇部 SDGs推進人財育成事業
2. 実 施 期 間	2023年　7月　1日　～　2023年　12月　28日
3. 事業の目的	市内外の課題や企業の抱える課題を学ぶことにより、SDGs推進をリードする「将来のSDGsエバンジェリスト」を養成し、持続可能なまちづくりにつなげていく。
4. 達成を目指すSDGsのゴールなど	達成を目指すSDGsの17のゴールや169のターゲットを記入してください。 「8. 働きがいも経済成長も」 ➡ 8.5　8.6 「9. 産業と技術革新の基盤をつくろう」 ➡ 9.2　9.4 「11. 住み続けられるまちづくりを」 ➡ 11.2　11.3　11.a 「12. つくる責任　つかう責任」 ➡ 12.3　12.5
5. 事業内容	①どこの（対象地域）、 ②誰（対象者）に対して、 ③どのような方法で、 ④どのような取組（事業）を実施 宇部市内の中学生・高校生をターゲットに、 ・学校単位での宇部の産業発展の歴史や SDGsに関する出前講座 ・SDGs を推進する企業や、先端技術をもつ企業などの視察 ・専門家を派遣したセミナー開催と交流会 ・ときわ公園でのサマーフェスタへの参加 などを通じて、人材を育成するとともに、学生の地元定着を図る。
6. 事業の目標	上記「4」の SDGsゴール等に関連する具体的な目標があれば記入してください。 ・市内中学校5校以上、市内高校全校での出前講座の開催 ・交流会において、学生50名以上、市内企業15社以上参加 ・企業視察受け入れ企業　20社以上
7. 期待される効果 （統　合　性）	取組による、経済・社会・環境の側面から期待される効果を記入してください。 （社会） ・人材の育成により、市内において SDGsが浸透する。 ・市民や学生が地域課題を把握できることにより、市の施策に効果的に反映できる。 ・イベントや交流会などへの様々なステークホルダーの参画により、多くの市民のまちづくりへの参加が期待できる。 （経済） ・視察や交流会を通して、地元企業の情報発信や新たな連携共創につなが

＜記入例＞

	る。 ・若者の地元企業への就職や起業の促進により、イノベーションの創出や地域経済の活性化につながる。 （環境） ・本市の公害克服の歴史学習により、環境意識の向上につながる。 ・エバンジェリスト養成により、市内の地球温暖化対策が促進される。
8. 事業の先導性	市民のSDGs推進に係る意識の向上やSDGs人材の育成につながるところがあれば記入してください。 この事業の主たる目的が、出前講座や勉強会、交流会を通じた意識啓発や人材育成を実現するプログラムになっている。
9. 事業の独自性	事業に取り入れた新しい視点や創意工夫したところがあれば記入してください。 ・特に市内企業の人材不足が叫ばれるなかで、企業が求める人材と、学生が求める企業像のアンマッチにも原因があると思われる。交流会を通じて学生と市内企業が相互理解を深める場を創出することで、企業にとっては、学生が求める企業像を知り、学生にとっては、これから企業価値の高まりが期待される「SDGs推進企業」の発掘につなげることが可能となる。
10. 事業の普遍性	多くの市民への普及や、今後継続的な取組とするための工夫点等があれば記入してください。 ・中学・高校生をターゲットとした出前講座や勉強会は、毎年学生が入れ替わるので、継続的に事業を実施する価値があり、多くの SDGs人材を輩出することが可能となる。 ・活動のなかで整理した「まちづくりの課題」から解決策を導き、市への提言を行う。
11. 事業の包摂性	多様性やジェンダー平等など、取り組みにおいて「だれ一人取り残さない」という視点に配慮しているところがあれば記入してください。 ・「女性が安心して働くことのできる職場づくり」はこれからの企業経営に欠かせないものであるので、市が認証する「女性活躍推進企業」にも交流会や勉強会に参加していただき、参加者への情報共有を行いたい。
12. 連携による運営体制	団体・組織が連携して取り組んでいる場合、その理由を記入してください。 SDGsのゴールは様々な面でつながっており、特に企業活動は多くのゴールに影響を与えているので、SDGsの達成には企業経営の状況把握は欠かせないから。

※連携して取り組んでいる団体を、下記に記入してください。

連携する団体①	団体名	株式会社うべSDGs食品
	所在地	宇部市常盤町１丁目〇〇－△△
	役　割	・市内企業への行事等への勧誘活動、 ・食品ロス解消や女性活躍推進推進法の啓発　など

＜記入例＞

連携する団体②	団体名	一般社団法人〇〇〇機構
	所在地	宇部市〇〇町三丁目XXX
	役　割	SDGsの専門家として、出前講座に参画
連携する団体③	団体名	
	所在地	
	役　割	

実施スケジュール

年　月	実　施　内　容
2023 年7月	「宇部 SDGs推進人財育成事業」担当者会議（毎月第2水曜日）
2023年7月	市内中学校・高校への出前講座の意向調査
2023年7月	視察受け入れ企業の調査・勧誘
2023年8月	参画団体メンバーによる勉強会
2023年9月～11 月	出前講座の実施
2023年10月	中高生による市内企業視察
2023年11月	SDGs講演会　及び交流会の開催
2023年12月	市への提言、2024年度の方針協議、事業終了

＜記入例＞

様式第1号の3（第6条関係）

収支予算計画書

1　収入の部　　（単位:円）

費　目	予 算 額	内　訳
宇部市補助金	200,000	
企業からの寄附	100,000	協賛企業10社
自己資金	150,000	
合　計	450,000	

2　支出の部　　（単位:円）

費　目	予 算 額	内　訳
謝　金	50,000	講演会講師謝金
旅　費	32,000	講師旅費、団体メンバー出張旅費
委 託 費	50,000	ホームページ製作委託
印刷製本費	80,000	チラシ印刷
使 用 料	150,000	交流会会場借上料、イベント用テント等借上料
消耗品費	70,000	文房具、ロール紙購入
保 険 料	2,000	イベント傷害保険
通 信 費	16,000	案内状用切手・はがき、荷物宅配料
そ の 他		
合　計		

※支出の合計と収入の合計は同額となるよう記載してください。
※補助対象経費のみ記載し、できるだけ具体的に記入してください（詳細資料を別添可）。

＜記入例＞

様式第1号の4（第6条関係）

申請団体概要書

フ リ ガ ナ	マチヅクリサークル　ワタシタチノエスディージーズ			
団 体 名	まちづくりサークル「私たちの SDGs」			
設立年月日	2018年　11月　1日			
フ リ ガ ナ	レンケイ　タロウ			
代 表 者	連携　太郎			
目的・活動 設 立 経 緯	（目的） 宇部市の SDGs を推進するため、SDGsを推進することができる「未来の SDGsエバンジェリスト」を養成することを目的とする。 （主な活動内容） ・市内の SDGsに関する課題把握のための「勉強会」の開催（月1回） ・外部講師の招へいによるセミナーの開催（年1回） ・市内小中学校を対象とした「SDGs出前講座」の開催 ・連携する市内企業との、環境技術に関する現地視察及び勉強会（年1回） ・宇部まつりをはじめとする市内イベントでの啓発活動 （設立経緯） 2015年の国連での2030年アジェンダが宣言されたことがきっかけとして、大学内で賛同する仲間が集まり、環境先進都市「宇部市」の歴史を研究するなかで、2018年に SDGsを研究し市内へ浸透させるサークルとして立ち上がった。			
担当者 連絡先	氏 名	共創　花子	所 属	宇部未来共創大学　工学部
	電 話	0836-00-9999	FAX	0836-00-0000
	E-mail	Hanako.kyousou@XXXX.ppp-u.jp		

※実施団体の存在を確認できる書類（定款、会則、規約、開業届、会員名簿等）を添付してください。